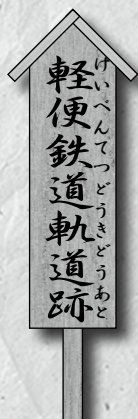
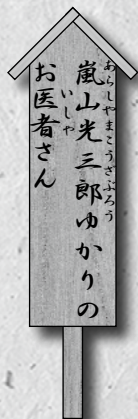


東区

街道を

ゆく



このコーナーでは、東区の街道周辺の史跡や文化を伝える資源解説板などを紹介します。

作家・嵐山光三郎は昭和17年、中野町の石垣家に生まれ、祖父である石垣清一郎から文学の薫陶を受けて少年時代を過ごしました。嵐山の作品には天竜川や清一郎がしばしば登場します。

石垣清一郎は、与謝野晶子主宰の「明星」に参加した浪漫派歌人で、「秋の風都へ帰る学友の待合室のトランクに吹く」の抒情歌で知られています。昭和2年に県議会議員となり、昭和21年から中野町村長を務めました。清廉にして豪快、篤実な村長として人々に親しまれました。

この解説板は清一郎の子孫が経営する病院の門前に建っています。

軽便鉄道は明治42年から浜松〜中野町の11駅間を走っていました。馬込川沿いの木戸から東海道の南側を走り、この地点で北側へ道を横切り、道沿いの家屋の裏側を通って終点の中野町（今の中ノ町自治会館）に着きました。

「けいべん」と呼ばれ親しまれた軽便列車は、ラッキョウ型の細長い煙突を持つミニSLで、客車一両を引いて、家の軒先すれすれをのんびり走っていました。昭和3年以降は、軌道自動車(ガソリンカー)に替わり、昭和12年に廃線となるまで沿線に住む人々の足として愛されました。

東区協議会だより

Vol. 75

7月26日(金)、第4回東区協議会が出席委員19人で開催されました。

報告事項について

防潮堤に使用する土砂の運搬について

平成25年7月から、静岡県が南区松島町および白羽町において、防潮堤の試験施工に着手しました。それに伴い、試験施工に使用する土砂の確保先として、天竜川の阿蔵山を主な採取場とし、天竜川の堤防道路を通り、施工箇所まで運搬することが、道路課から報告されました。

年9月上旬から
搬出回数：1日300台程度(平成25
搬出時間：午前8時30分〜午後5時

〈委員からの質問〉

Q 交通安全に配慮して、しつかり対策を取ってほしい。

A 運搬車両には、プレートを付けるなど、住民にも運搬車両だと分かりやすいようにする。また、交通安全や速度制限など周知を徹底する。

Q 交通誘導員は配置するのか。

A かささぎ大橋周辺と大きな交差点に配置する予定である。

Q 運搬車両からの、ほこりやちりの拡散が心配である。

A 清掃作業を行う。

Q 学校や地域には説明会を行うのか。

A 地元説明会や学校との打ち合わせを実施して、児童や生徒の事故を防ぐように対策を行う。今後、順次説明に伺う予定である。

Q 一般の住民に説明はあるのか。

A 土砂運搬のための車両通行については、広報やホームページ等での情報提供を考えている。運搬経路を含む自治会には説明を行う。本来ならば時間をかけたところだが、緊急を要する案件なので、決定事項として報告することとなった。

Q 運搬経路は幹線道路を利用するようだが、通行できなくなった場合の対策は考えているのか。

A 指定した幹線道路が通行できなくなったら、他の幹線道路に切り替える。生活道路を通行しないように関係機関と協議して決定する。

Q 大型車両が現場に来るときや帰宅するときの運行ルートはどうなっているのか。

A 入札前であり、請負事業者が未定なので詳細は不明だが、いろいろな地域から集めてくるのは確実なので、現場に来るときや帰宅するときのマナーについてもルールを作成して徹底させたい。

